

## 会 議 録

会 議 名		令和6年度第2回 3市ごみ減量推進市民会議		
事 務 局 (担 当 課)		日野市ごみゼロ推進課、国分寺市ごみ減量推進課 小金井市ごみ対策課		
開 催 日 時		令和7年2月 19 日(水)午前 10 時00分～11 時 15 分		
開 催 場 所		日野市クリーンセンター プラスチック類資源化施設		
出席者	委 員	<出席者:15 名> (学識)宮脇委員長 (日野市委員)加納委員・新井委員・高松委員 (国分寺市委員)鴫田委員・森田委員・佐藤委員・永本委員 (小金井市委員)光明委員・清家委員・林委員 (行政)小澤委員(日)・栗原委員(国)・今井委員(小)・鈴木委員(浅)		
	事 務 局	日野市:河本 国分寺市:西脇係長 小金井市:立崎係長・竹内係長		
欠席者		(日野市委員)伊藤委員 (小金井市委員)石原委員		
傍聴者の可否		可	傍 聴 者 数	0 人
会 議 次 第		1 小委員会からの報告 ア 情報発信・環境学習グループ イ 減量グループ  2 その他  3 閉会		
会 議 結 果		別紙審議経過のとおり		
提 出 資 料		別添のとおり		
そ の 他				

事務局	配布資料確認
宮脇委員長	それでは、ただいまより会議を開催したいと思います。 会議を始める前に、傍聴の有無について事務局よりお願いします。
事務局	本日は、まだ傍聴者はお越しになっておりません。
宮脇委員長	本日は、まだ傍聴者がお越しになっておりませんが、この後傍聴希望者が来られた場合は、傍聴席にお入りいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員一同	異議なし
宮脇委員長	それでは最初に「小委員会からの報告」として情報発信・環境学習グループリーダーよりお願いします。
A 委員	<p>今日まで 8 月、10 月、11 月、1 月に会議を開催いたしました。 合計4回の会議を開催し、各自の関心を中心にフリートークを重ねてまいりました。</p> <p>沢山のアイデアが出てきましたが、次のことがテーマの有力候補として出てまいりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロス</li> <li>・市民の知りたいこと、分かっていないことの発信</li> <li>・浅川清流環境組合についての情報発信</li> <li>・燃やせるごみを減らす取り組み</li> <li>・分別について</li> <li>・リチウム電池の処理</li> <li>・生ごみ処理機・堆肥化</li> <li>・拠点回収</li> <li>・催し会場や市役所でゴミ・リサイクルの見える化発信</li> <li>・3市とも堆肥化事業を実施しているので、その事業をもっと周知させよう等です。</li> </ul> <p>そして、多くの人が身近に接しているものをテーマにしようという意見もあり、最終的に生ごみ削減(家庭の台所で出来ること・買い物時にできること)に収束・決定しました。</p> <p>具体的な情報発信の手法などについては、来年度から検討します。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただ今、ご報告いただいた件について、ご質問等はございますか。</p>
B 委員	生ごみ削減というテーマに至った理由とは何でしょうか？
A 委員	討議を重ねていく中で、各委員の意見が集中したためです。
宮脇委員長	買い物時にできることとは、どのようなことをお考えでしょうか？
A 委員	「商品の前取り」「特売商品の購入」「タバスケの活用」などです。
C 委員	今後、具体的手法等を検討していく中で、例えば買い物前の冷蔵庫中身チェ

	<p>ックなど、これまで実施してきたことの推進や、まだまだ推進できることなどを考えていきたいと思っています。</p>
D 委員	<p>我々が気を付けないといけないと思ったことは、楽しく生活しながら生ごみ削減に向かおうということです。生活に密着した行動にいかに結び付けるか・促すかを議論していく必要があると思いました。</p>
宮脇委員長	<p>それでは次の報告に移りたいと思います。減量グループリーダーよりお願いします。</p>
E 委員	<p>私どものグループも 8 月、10 月、11 月、1 月に会議を開催いたしました。まず初めに、昨年度の減量グループが実施した食品ロス web アンケートを軸に検討していこうということになりました。議論を重ねる中で、冷蔵庫の中身チェックシートを作成する方向になりました。今後は、「チェックシートの作成」「チェックシート作成にあたり、まずは減量グループ委員での試用実施」「標語の作成」を行っていくことに決定いたしました。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございます。 ただ今、ご報告いただいた件について、ご質問等はございますか。</p>
F 委員	<p>生ごみの削減等ということで、これまで議論を重ねてまいりましたが、その中身は発生源対策が中心でありました。ただ、忘れてならないのが、可燃ごみの約半分の割合を占める生ごみ(不可食)そのものを出さないということが非常に大事です。堆肥化することや資源化することが核心部分だと考えております。</p>
宮脇委員長	<p>チェックシートについて、他自治体ではどのようなものがあったのでしょうか？</p>
事務局	<p>荒川区・福岡県北九州市・兵庫県加古川市・岡山県笠岡市などを参考にいたしました。</p>
A 委員	<p>チェックシートは、紙やアプリやマグネット等があるようですが、具体的にはどのように作成する予定でしょうか？</p>
E 委員	<p>現段階ではそこまで検討いたしておりません。ただ、マグネットだと今の冷蔵庫は貼れない物も多いので、検討課題と認識しております。</p>
G 委員	<p>世の中的に、食品ロスに対する認識が高まっていることを感じます。確かに事業系ごみでは政府目標数値を達成済でもあり、個人個人が重荷にならない範囲で少しずつ取り組まれている結果かなと思っています。 意識が低下していかないよう、常に PR していくことが必要だと思い、チェックシート作成とは別に標語を作成したいと考えております。</p>
D 委員	<p>具体的手法として、SNS もひとつの広報手段だと思います。行政の方で何かしらのメッセージを発信し続けることも重要かと思います。</p>
宮脇委員長	<p>3 市ともアプリを活用していると思いますので、そのようなものも活用しても</p>

	良いかと思います。
宮脇委員長	全体として、何かご意見ご質問等、何かございますか？
A 委員	個人的には、子どもを巻き込むような活動をしたいと思っております。 大人の考え方を変容していくことはなかなか難しいが、これからの未来を担う子どもたちへ伝えていければ良いなと思っています。
宮脇委員長	近年、学校の現場では環境教育に力を入れているところも多くございます。
F 委員	当市では、市内小学校 10 校 4 年生に対して、出前授業というものを実施しております。内容としては、物も少なかった江戸時代から現代の大量生産・大量廃棄の状況を比較してみようと検討してます。このような活動を広めていくことで市民全体に広がれば良いなという思いで取り組んでおります。
栗原行政委員(国)	市としても、テキスト代等を予算化し、サポート体制をとっております。
H 委員	出前授業の内容は、ごみ減量全般になるのでしょうか？
F 委員	環境教育の一環として、ごみの分別方法等を中心に実施していく予定です。
I 委員	普段は商売をしており、パンや野菜。肉類等を置いております。市からタバスケを紹介され登録しております。それから、廃棄物が格段に減少してとても喜んでます。ただ、加盟店がまだまだ少ないので、市の方で積極的な PR をお願いします。
E 委員	我々どものグループで作成予定のチェックシートが完成しましたら、3 市で実施している環境イベントで配布したいと考えております。
A 委員	最近読んだ本ですごく感動したものがあるのでみなさんにも紹介させていただきたいと思います。民間の女性で初めて調理隊員として南極地域観測隊に参加された綿貫 淳子氏の本です。
D 委員	生ごみを燃やさない方法として、費用はかかるのですが、メタンガスにして燃やすという「バイオマス発電」というものがございます。3 市が協力すれば一定程度の生ごみが集まるので、事業として成り立つのではと思っております。環境問題とは 10 年 20 年単位で長期的に考えなければならないものなので、行政としてはそのような考えの元、取り組まれていただければと思います。
J 委員	当市のスーパーに買い物に行くと、ある場所に人だかりができていました。覗いてみると、パンを 2～3 割程度安く売っているスペースでした。食品ロスの問題や、フードドライブなどについても、もっと店舗が多ければ若い方々も活用できるので必要ではないかと思いました。
B 委員	ここまで色々な手法や考え方をお聞きしたが、この委員会では各種のデメリットも検討した方がいいと思っています。チェックシートは自宅で使用してい

	<p>ますが、視覚的に判断できるのでとても良いと思っております。これを現在は情報グループと減量グループとで分かれています、情報グループで検討し、減量グループで行動するというような共同も必要なのではないかとも個人的に思いました。</p>
宮協委員長	<p>それでは次第の2 その他として事務局より何かございますでしょうか。</p>
事務局	<p>別添「可燃ごみ中への水銀混入について」資料を用い報告実施</p>
宮協委員長	<p>その他事務局からございますか。</p>
事務局	<p>来年度は令和 7 年 4 月中旬頃に開催予定でございます。その後、5 回ほど小委員会を開催した上で、令和 8 年 2 月頃に日野市長あてに報告会を実施したいと考えております。引き続き、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p>
宮協委員長	<p>それでは本日の全ての次第について終了いたしましたので、この後の進行は事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>それでは、これもちまして、令和 6 年度第 2 回 3 市ごみ減量推進市民会議を閉会いたします。 長時間に渡り、ご協力いただき誠にありがとうございました。</p>